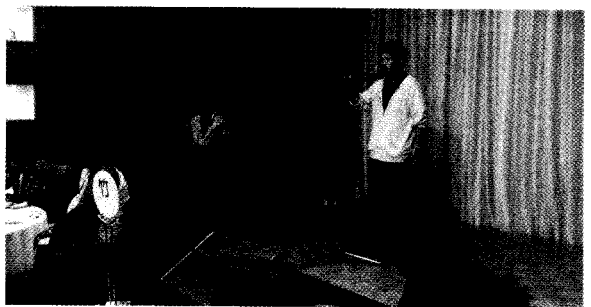
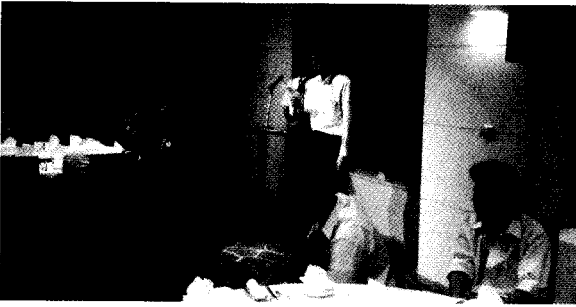


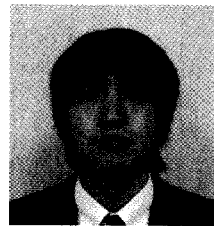
2013.10
VOL.62



上半期活動総括・上京運動
田舎まるかじりツアー



2013 ぬぐり青年部 上半期活動総括



委員長 成澤 貴行

今年の夏も日本全国に猛暑が訪れました。あるところでは最高気温が40℃を超え、またあるところでは雷が電車を直撃、雨が降り続き洪水被害を受けたところもあれば、竜巻が発生したところもありました。異常気象なのか日本全体が大荒れの上半期となったように感じます。

我が庄内においても、長雨により田んぼが刈取り前にして足がぬかるむ程で、今日に至っては台風が到来しています。農業は自然を相手とする仕事でありますが、もう少し「お・も・て・な・し」をしてほしいですね。

さて、地域の農業を支えてい

る盟友の皆さん、お忙しいところ青年部の活動にご協力頂きまして誠にありがとうございます。先日行われました上期監査も滞りなく終わり、上半期の本部活動を終えることができ安心しております。

私が青年部の執行委員になってから5年が経ちますが、先日の盟友交流会に参加した際、5年前と比べると各支部長の顔ぶれも変わり、私よりも下の20代の盟友が増えていることに気づきました。これからの青年部を支えていく立場の盟友が増えていくことは、非常に喜ばしいことです。今後、もっと活動に参加して青年部を盛り上げてもらい、さらに下の10代の若者など、これから農業を始めようとする人たちにも、仲間づくりの場として、青年部を知ってもらいたいと思いました。農業人に悪い

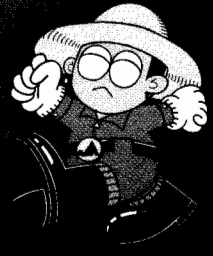
人はいないので、青年部を通して農業の輪を広めたいと思います。

稲刈り作業も始まり、盟友の皆さんも上半期の仕事の総括時期になっていると思います。先にも述べましたが、春からの天候不順により、それぞれの作業に支障をきたすことも多々あったのではないのでしょうか？しかし、天候不順だったからこそできる経験もありますので、「いい経験をした。」と、次に活かしていきたいものです。

下半期も盟友の皆さんと頑張っていきたいと思っております。よろしくお願致します。

今年の冬は非常に寒くなると言われています。盟友の皆さんには体調管理に万全を尽くして頂きたいと思っております。盟友の皆さんの益々の活躍を期待しております。

庄内みどり青年部 上京運動



副委員長
三浦 広和

今年も6月19～20日の2日間で横浜、東京の25校の小学校で訪問授業を行ってきました。青年部の盟友と参加協力者合わせて30名の体制で、例年通り各班2～3名による授業でしたが、各班それぞれが苦勞しながらも、実のある授業ができたのではないのでしょうか。

訪問校では、校長先生や担当の先生が歓迎してくれたことで、とてもスムーズに授業を行うことができたと思います。

授業内容は、まず稲作りの流れをDVDで見てもらい、それについての自分なりの苦勞や工夫、仕事に対する思いなどの話をしました。児童達からの質疑応答では、子供ならではの質問から、専門的な質問だったり、自分たちでは考えもしなかったことを質問されたりと、逆にこちらが勉強させられたような感覚もありました。子供たちの純粋な感覚に触れたことで、改めて頑張ろうという元気をもらえ

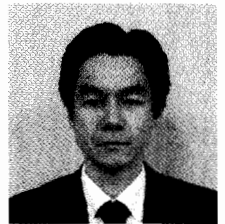
た気がします。

また、5月にこちらから送った苗は、思っていた以上にうまく育てられていました。みんなが不安になりながらも大事に育てているのを見て本当に感心しました。少しでもみんなの不安を解消する手助けをという気持ちで時間の許す限りみんなの疑問に答え、安心した時に出る笑顔がとても微笑ましかったのが印象的でした。特に虫害、鳥害、病気などの対策などが気になるようでした。また、自分たちが田んぼで作っている稲とバケツで作っている稲とは、根本的に条件が違うので今度行く時にはもっとバケツ稲に対する勉強をしていって、もっといろんな質問に答えられるようにしたいと思います。

最後に、この20年以上続いている上京運動は、子供たちに食育と日本の農業を理解してもらうことはもちろんですが、自分たちにとっても、職種の違う人や、同年代の盟友と話をすることで新たな発見や勉強ができるよい機会だと思えます。来年も継続して続けていきますので、盟友の皆さんのご協力をこれからも宜しくお願いします。



田舎まるかじりツアー 2013



農政部長
伊藤 昭

今年の田舎まるかじりツアーは、七月二十六日から二十八までの二泊三日の日程で行われました。今年の参加者は小学校の児童、保護者、先生の計十名と、例年と比べて少なめでした。その中で青年部二年目の私は、一日目と三日目の添乗員を務めることになり、当日を迎えるまでは、果たしてこのツアーをうまく進められるか正直心配でした。しかし、ツアー初日に空港で参加者の皆さんを迎えて、その元気で明るい様子を見て心配が消えました。初日はまず山居倉庫に向いました。米俵と同じ重さのものをみんなを持ち上げようとすると、昔の庄内の農業に興味を持ってくれたようでした。次に西荒瀬のカントリーに行き、田んぼ教室を開きました。ここでは西荒瀬の無人ヘリの実散布を見学する等、西荒瀬の盟友のみなさんにはお世話になりました。その後、しらい自然館でバ

ーベキューをして初日の添乗を終えました。バーベキューではJA庄内みどり管内の多くの盟友の皆さんからご協力を得ました。本当にありがとうございました。

二日目、私は不参加でしたが、例年通り、藤崎のメロン収穫、餅つきなどを行いました。藤崎の佐藤伸さん、東平田のさくらグループの皆さん、そして盟友のみなさんありがとうございました。今年は夏の大雨の影響で泥んこパレーは出来ませんでした。その準備にあたってくれたみなさん、どうもありがとうございました。

三日目は加茂水族館と観光物産館を回り、庄内空港で参加者の皆さんを見送りました。空港で私達青年部盟友が手を振るのに応えて、飛行機の中からずっと手を振ってくれたのがとても嬉しかったです。

まだまだここに挙げきれない程、盟友の皆さんからはご協力を頂きました。そのお陰で今年のまるかじりツアーを終えることができました。皆さん本当にありがとうございました。



田舎まるかじりツアー ～アンケートより～

Q1.庄内について印象に残っていること

〈児童〉

- ・田んぼだらけだったこと。
- ・自然がたくさんあるところ。

〈保護者・教諭〉

- ・一面のたんぼ、ビニールハウスの景色。
- ・夜にホテルを見られたことに感動。
- ・東京より暑いことに驚き！バスから見えた田んぼの緑がきれいだった。
- ・見渡す限りの田園風景と鳥海山、新鮮な野菜とおいしいお米と親切な人たち。



Q2.農業をしたいと思いますか(どんな農業をみたいか)?

〈児童〉

- ・おいしいお米を作る。
- ・苦くないピーマンを作る。

〈保護者・教諭〉

- ・田植えや稲刈りなど、田畑の農作業体験をしてみたい。
- ・家庭菜園程度の小規模なものをしてみたい。
- ・実家に眠っている田んぼがあるので、漠然とであるがお米づくりを経験してみたいと思っている。

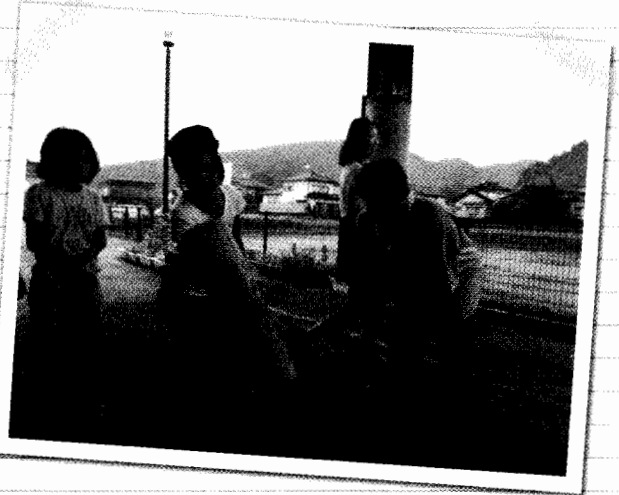
Q3.庄内の食材を食べてみた感想

〈児童〉

- ・とても美味しかった！！
- ・お米が家で食べているものより美味しかった。

〈保護者・教諭〉

- ・お米がとてもおいしかったです。海鮮もおいしかった。
- ・米も野菜も肉も魚もおいしかったです。
- ・美味しい食べ物が多いところだと思いました。
- ・山、海にもめぐまれ、ブランド食材も多く、豊かな地域だと思いました。



Q4.まるかじりツアーについて

〈日程・行程について〉

- ・1週間くらいの「農業体験」(ファームステイのようなもの)があってもおもしろいと思う。
- ・楽しかったから、もう少し長くてもよかった！！
- ・移動がバスだったので、無理なく参加できた。

〈宿泊について〉

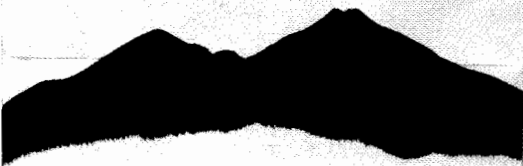
- ・農家の方の生活が伺えると思うので民泊も経験してみたい。
- ・農家さんに宿泊し、地元の料理を食べてみたかった。

〈その他〉

- ・青年部のたくさんの方々親切に案内して頂いて、娘を含めとても楽しい旅になりました。
- ・泥んこパレーを体験できなかったのが、来年も参加出来ればいいと思う。
- ・青年部の皆さんが暖かく迎えて下さり、大変楽しいツアーでした。
- ・また行きたいです。
- ・もう少し参加者が多いともっと楽しかったと思う。



遊佐の水源を守ろう！



STOP 岩石採取！

JA庄内みどり青年部遊佐支部

遊佐支部

おいしくて
おいしくて
おいしくて

つや姫
だよ♪

JA庄内みどり青年部上田支部

上田支部

北平田地区
農業振興協議会

JA庄内みどり
北平田支部

一、一日は米から始まる

一、コソコソと焼ける

一、失敗より何もしないこと
を恐れろ！

一、新しい事は今から始められる！

一、がむしゃらにただ、
がむしゃらに…
以上

北平田支部

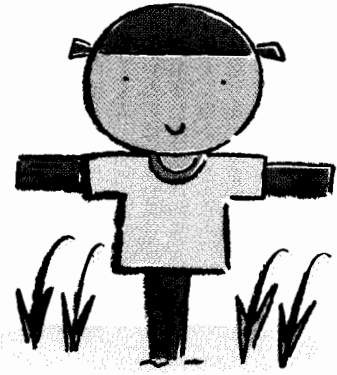
鳥海山麓
やわたの米
いつ食べるの？
今でしょ！

JA庄内みどり やわた

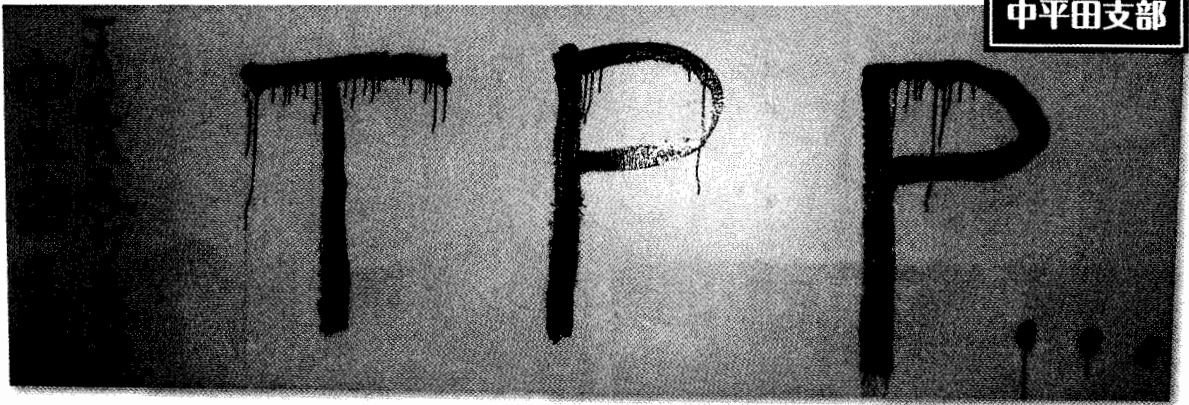
八幡支部

野豆
看板
2013

西荒瀬支部



中平田支部



中平田支部



TPP
反対!!



農業は
なくさない
で下サイ!!

JA庄内みどり青年部新堀支部・農政対

新堀支部

庄内米
いつ食うか
今でしょ



JA庄内みどり青年部平田支部

平田支部

経営部主催 農業視察研修

9月8日(日)に経営部主催の視察研修が行われました。25年度は、有限会社鶴岡グリーンファームを研修先とし、様々な活動や経営を教えて頂きました。

設立が平成17年で、今現在の構成員は14名。水稲と無人ヘリの収入を柱としていて、年商は1億に迫る勢い。昨年度は山形県ベストアグリ賞も受賞されました。

印象に残った話題として、会社であれば利益を上げる為自分達で米を直販する事を考えようですが、約50haカントリーへ出荷し販売は任せていること。また、無人ヘリ防除は自分達で率先して取り組み、現在では4機自社購入し、2000haを超える防除面積をこなしているとの事です。

勿論苦労もあると思いますが、とても自然体で出来ない事は無理をしてやらない、ある意味潔さを感じとられ、話の中で「腹をくくる」と何度か言葉に出していたのに、決意を感じる事が出来ました。会社と聞いて少し構えて向かった今年度。帰りに自分達でも頑張れば出来るぞと、勇気を貰った研修となりました。

最後に稲刈り前のお忙しい中、参加して頂いた盟友の皆様、誠にありがとうございます。来年度も多数の参加をお願いします。(経営部長 池田 正和)

総務部主催 盟友交流会

9月8日(日)に総務部主催の盟友交流会をリッチ&ガーデンで開催させて頂きました。連日の農作業のお忙しい中、40人もの盟友の皆さんに参加頂き誠にありがとうございました。

仕事での汗を流した後のビールの味は格別だったのではないのでしょうか?若い農業青年が各支部よりこれだけ集まると壮観なもので、これからの暗雲立ち込める農業情勢を吹き飛ばしてしまおうほどのパワーを感じ取られました。皆それぞれ、意見交換や気の合う仲間を見つけ、意気投合して盛り上がるなど、会場の熱気は終始冷めやらぬものでした。

青年部活動も年間行事の半分を過ぎ、大きなイベントも少なくなつてまいりました。

これからも有意義な意見交換の場と、明るく楽しい懇親の場をセッティングしていきたいと思えます。多数の盟友の皆さんの参加を、心よりお待ちしております。

(総務部長 阿波 一成)



読コーナー 農業山柳のひろば



今回が初めての試みであった農業山柳ですが、読者の皆様より予想以上のご応募を頂きまして、誠にありがとうございます。全ての作品をご紹介したかったのですが、誌面のスペースの都合により、誠に勝手ながら川柳部長選抜の6作品をご紹介します。

一、農業に 大きな津波 TPP 作者 ひまわり

部長 日本の農業に大打撃を与えそうなTPP。諦めずに声を上げましょう! TPP断固反対!!

二、歳よりも 気持ち若けりや 青年部 作者 昭和時代

部長 早いもので平成生まれも25歳になるんだねえ。

三、草刈を 祖父とでかして ソフト喰う 作者 甘党男子

部長 真夏の草刈り作業お疲れ様です!頑張った自分にご褒美!

四、十五夜に 照らされ浮かぶ 豊作祈願 作者 うめちゃん

部長 心安らく情景が目に浮かぶようです!

五、仮渡し 稲穂のこうべと 共に落ち 作者 あすか

部長 そんな事言わず前を向いて行きましょう!

六、春雨と 長梅雨、台風 次来るな 作者 あとふじ

部長 今年の冬は大雪にならないでほしいなあ。

青虫では引き続き農業山柳の募集を行ってまいりますので、詳細は事務局・加藤(TEL2615643)までお問い合わせ下さい!